

キャッチ通信

第23号
平成28年2月発行

新春のご挨拶

特定非営利活動法人

総合相談支援センター キャッチ
所長 高尾 一弘

新春のお慶びを申し上げます。

この年末年始は、例年とは変わって暖冬となり、比較的過ごしやすかったように思います。これからは徐々に寒さも緩み、春に向けて花のつぼみも膨らむ季節となってくるので、あと少しの辛抱です。

皆さん、体を壊さないように気を付けてお過ごしください。

話題は変わりますが、障がい福祉の近年の動向は、権利条約の批准に向けた国内法の整備と制度の見直しが進められる中、「障害者差別解消法」の施行の年となり、ようやく国に関する動きでは、最終段階に入りそうです。

この数年間、障がい福祉の制度の改革・再編に追われる毎年でしたが、今後は定期的に細かい見直し等が行われることとなります。

街におきましても、地域を生活のステージにした使い勝手の良い障がい福祉サービスへの見直しと共に市町村が実施する地域生活支援事業の充実が目指されます。

これまで緊急事態等に備えた「暮らしのセーフティーネットの役割」を果たす地域生活支援システムがなく、当事者や親の方々の不安はなかなか解消されない状況が続いていましたが、今後は、実際の生活の場である地域にスポットを当て、地域の障がい理解の促進、暮らしの安全安心に直結する地域生活支援の使いやすいシステムづくりや地域の事情を反映した肌理細かい地域生活支援事業の運用に向け、見直しや環境整備が急がれることとなります。

当事者の方々にとって住み易さが実感できる日々が、一年でも早く訪れるように今後とも関係者で努力をしていきたいものです。

キャッチとしましても障がいのある方とその家族の方が安心して暮らし続けることができるように、寄り添う支援の充実に向け、努力を続けてまいります。

今後とも障害福祉に対するご理解と御協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

今年も、皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますようお祈りいたしております。

～ 無 量 壽 ～

地域生活の安全・安心を守る為に（2月新年号）

（今急がれる地域に必要な相談支援体制とセーフティーネットとの機能について）

所長 高尾 一弘

いま日本では、ノーマライゼーションの考えと障害福祉の法の理念であります「障がいがある前に一人の人間である」という考え方から「人としての尊厳」、「個性の尊重」「本人らしい生き方」に着眼した障がい福祉の施策が推進されているところです。

どこの街でも、誰もが安心して暮らせる街を目指し、地域づくりが進められるようにとの思いのもと、障がいのある方々が「地域の中で生き続けるためには」どのような支援体制とサービスの機能が 필요한のか、この十年間、困難事例等への支援を通して検証し、地域の課題整理がされてきたところです。

地域での本人の生活は、ライフステージ(年代)毎に必要な多様なサービスと地域の様々な人の力を借りて生きていく仕組みがないと成り立ちません。また地域生活支援の仕組みは、地域という広いステージで自分らしい生き方を求めて生活する方々を支えていかなければいけませんから、制度やサービスを動かす行政の力はもちろんのこと、本人が必要とする医療、教育、福祉、様々な専門機関や地域の資源、そして地域の方々の力を借り、連携した支援を行っていくことが重要です。

これまで地域には、緊急時等に本人や家族を支える有益で使い勝手の良い手立てはなく、支援機関等の熱意と努力により何とか支えられ、急場をしのいできたのが現状でした。

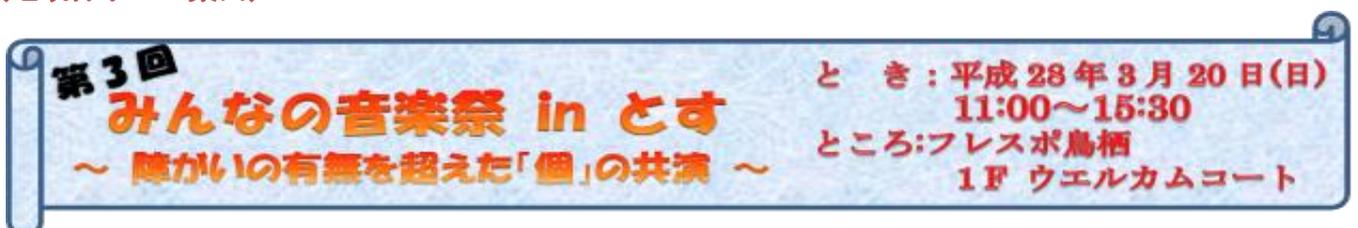
佐賀県が第4期障害福祉計画で示されたとおり、地域生活における最低限の生活の質の担保となるセーフティーネット作り(緊急時等対応の地域生活支援拠点設置)に向け、この鳥栖三養基地区自立支援協議会においても本格的な議論が開始されたところです。

平成27年度から三年間で議論される地域生活支援拠点設置が、住みやすく暮らしやすい街づくりに向けた大きな第一歩となると思いますので今後の動向に注目していただきたいと思います。

今後この地域が目指さなければいけないものは、本人や家族に寄り添い、いざと言う時に頼りになる地域相談支援体制(本家族に寄り添う体制)の確保と生活の安心につながるセーフティーネットの構築、各種支援機関による質の高い連携(ネットワーク)支援が地域に定着することだと言えます。

このような要素が街づくりの中に備わることが、地域で生きていく当事者のために今一番必要なことであり、当面の街づくりの中で、大きな目標ではないかと考えます。

(地域行事のご案内)



第3回
みんなの音楽祭 in とす
～ 障がいの有無を超えた「個」の共演 ～

と き：平成28年3月20日(日)
11:00～15:30
と ころ：プレスボ鳥栖
1F ウエルカムコート

鳥栖・三養基地域（東部圏域）事業所紹介

ニチイの 障がい福祉サービス

あたたかい、元気になる、毎日が楽しい、安心・・・

ニチイのお客様のこうした声をよくお聞きします。

在宅介護業界において、日本全国に介護サービスを提供しているニチイケアセンターだからこそ、障がいをお持ちのお客様にも満足いただけるサービスを提供できると考えております。

相談無料

ぜひ一度お電話ください

障がい福祉サービスの
ことなら、ニチイに
なんでもご相談ください！



お申し込み・お問い合わせはこちらまで

〒841-0032

鳥栖市大正町703番地1

TEL 0942-87-9357

指定居宅サービス事業者

ニチイケアセンター鳥栖

ニチイ



“「みんなの会」を開催しました”

今回は、本人達で実行委員を選出し、計画を進めてきました。

希望の多かったカラオケを計画・実施しました。

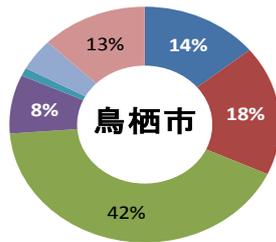
みんな和気あいあいと、自慢の喉を披露して盛り上がりました。カラオケの後は皆で食事をして短い時間でしたが、楽しむことができました。（参加者18名）

「11月の会には参加できなかったけど」という方も、一歩踏み出して、一緒に活動してみませんか？

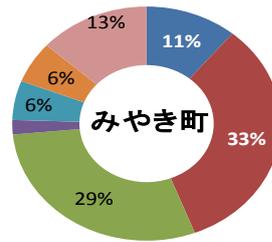
「就労支援部会」



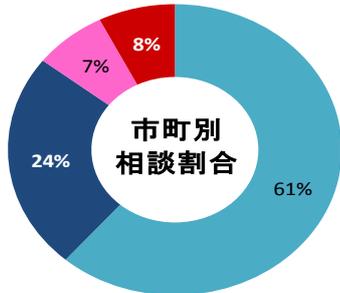
平成27年10月～12月の相談件数



鳥栖市		
	件数	人
身体	325	22
知的	410	35
精神	965	42
発達障害	185	7
難病	26	2
重心		
高次脳	100	3
手帳なし	293	15
合計	2,304	126



みやき町		
	件数	人
身体	100	6
知的	300	20
精神	266	10
発達障害	18	4
難病	49	1
重心	52	3
高次脳		
手帳なし	121	7
合計	906	51



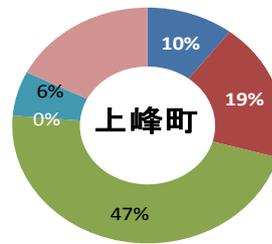
■ 鳥栖市
■ みやき町
■ 基山町
■ 上峰町

	相談件数	相談者数
鳥栖市	2,304	126
みやき町	906	51
基山町	266	40
上峰町	279	15
合計	3,755	232

※ 表中の”相談者数”及び”人”の数値は実人員



基山町		
	件数	人
身体	10	5
知的	53	10
精神	146	16
発達障害	8	5
難病	18	1
重心		
高次脳		
手帳なし	31	3
合計	266	40



上峰町		
	件数	人
身体	29	3
知的	53	5
精神	131	4
発達障害		
難病	17	1
重心		
高次脳		
手帳なし	49	2
合計	279	15

※ 編集後記

おたふく風邪、4年半ぶりに全国的な流行の兆し

まとめによると、今月に、全国約3000の小児科から報告のあった患者数は3771人で、1か所あたり1・2人となった。1か所あたり1・0人を超えるのは、2011年7月以来。1か所当たりの患者数が多い都道府県は、佐賀（5人）、宮崎（4.23人）、石川（3.31人）で、各県とも流行注意報を発令した、との事です。気を付けましょう。 大塚

○鳥栖市・みやき町・基山町・上峰町にお住まいの、障がい者本人、障害のある方を支えている家族及び支援者からの相談をお受けします。

障がいの種別、手帳の有無は問いません。相談は無料です。

<相談窓口開設時間>

9：00～18：00（月曜日～金曜日）

9：00～17：00（土曜日）

- ・上記の時間帯以外でもご相談をお受け致します。事前にご連絡ください。



特定非営利活動法人

総合相談支援センターキャッチ

住所：佐賀県鳥栖市宿町 1041-3

電話：0942-87-8956 FAX：0942-85-9003

Mail：so-sodan@tosumiyaki-sodan.or.jp

虐待を見た、
虐待を受けたと思っている方はご一報ください。
鳥栖・三養基地区 障がい者虐待防止センター
TEL.0942-85-8900

